

84

異物誤飲(ボタン電池)

swallow of foreign object (button battery)

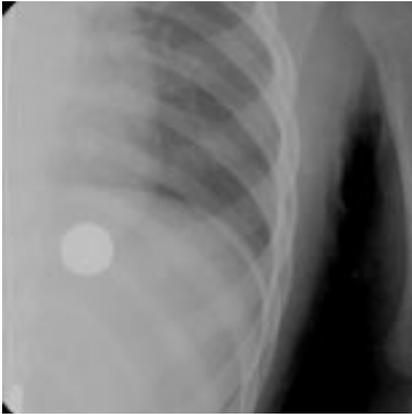
主訴・症状

テーブルの上においてあった電池がなくなっていた。

画像診断情報



腹部単純像



X線透視像

ボタン電池が胃内に認められる。

マグネットカテーテルによる異物除去．

留意事項

検査室は暖めておく，児が暴れると除去が困難になるためしっかり抑える．

ワンポイント

ボタン電池の影響

腐食による効果

アルカリマンガン電池(LR)，水銀電池(MR，NR1)，酸化銀電池(SR)，空気亜鉛電池(PR)は内部にアルカリ成分の液体を含んでおり，溶け出すと腸管を腐食させ，穿孔，出血を伴う．

電流による効果

放電した電流により過熱し，低温やけどを引き起こす．

その他の異物



鍵



おはじき
腹部単純像



髪留め

誤飲された異物は48時間程度で排出されるため，形状や素材によって経過を観察する．

必要な対応事項

- ・ マグネットカテーテルにて異物除去を行う。
- ・ 透視下にて異物除去ができないと手術になる場合がある。

緊急対応事項

- ・ 電池の種類および使用済みであるかを確認する。
- ・ 異物の種類・形状によっては危険性がある。
- ・ 画像に写り難い異物もあるため、撮影時には必ず誤飲した可能性のあるものを検査時に持参してもらう。大腿部などに異物を載せて撮影すると比較しながら確認できる。

85

腸重積

intussusception

主訴・症状

不機嫌，断続的な嘔吐，血便．

画像診断情報

腹部単純像



超音波画像

第4腰椎右側に軟部腫瘤様陰影が確認できる．一般にはイレウス様または腫瘤所見がみられるか，まったく所見が確認できないものもある．

確定診断のための超音波検査が重要である．ターゲットサインが確認できる．
検査条件

立位・臥位を撮影するのが理想だが，臥位のみでも確認可能である．

留意事項

撮影中，嘔吐など異常が認められた場合，スタッフを集められる態勢を作って

おく。

ワンポイント

注腸整復

- ・シート，包帯，暖めた生食，ヨード系造影剤(希釈したバリウム)，バルーンカテーテル，4号包帯，ボトルなどを用意する。
- ・点滴台に検査台より液面が1mになるようにセットする。
- ・チューブ内に造影剤を満たし，生食を入れる。



児の膝を包帯で固定する．肛門の上下を幅広のエラスチコンテープなどで固定するとチューブがより抜けにくくなる．



コントロール画像



整復前（かに爪サイン）



整復後

必要な対応事項

- ・嘔吐し始めてから24時間以内，または症状が軽度ならば透視下整復．
- ・透視下整復ができない場合は手術となる画像情報．

緊急対応事項

- ・整復時は小児外科医が必ず手技を行い，消化管破裂を想定して準備を行う．
- ・整復を3回試みて改善されないようならば手術へ移行する．
- ・整復はエコー使用することにより被ばくが低減できる．

禁忌事項

free air，腹膜炎などが確認できる場合や，全身症状によっては注腸整復は禁忌となる．